

祈りの絆



お祈りください

1. 各チームのクリスマス集会を覚えて
2. 余震の被害から守られるように
3. 福島第一原発事故が1日もはやく収束するように
4. 来年11月より行う第一原発4号機燃料棒の取り出しがすみやかに安全に行われるように
5. 募金目標が達成され、十分な支援活動が展開できるように
6. 避難されている方々が、希望を持てる新年となりますように。

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/



増築された第4仮設談話室にて
お茶っこ会

立ち尽くしてしまいました。また、今でも津波が襲った時を刻み、止まったままの時計がかけてある大槌町役場をみて呆然としていました。今回は、現地支援委員長の鈴木牧人牧師もお手伝いに来てくださり、やはり現地の様子に驚きを隠せないようでした。第4仮設のお茶っこに出かけ、仮設の方が用意してくださったお昼ご飯をいただき、今回は、仮設の皆さんと折り紙でクリスマスツリーを作りました。



防災センター

1. 遠野ボランティアセンター報告
11月26日～30日まで西南学院大学の学生10名、リーダーの小林大記神学生、引率として大学職員2名、計13名の方が遠野ボランティアセンターを通して、大槌町小銃第4仮設、第7仮設、吉里吉里の保育園建設予定地でのボランティア活動を行なってくださいました。津波被災地の釜石や、大槌の状況を初めて自分の目で見た学生たちは、まだまだ復興には程遠いガレキの山と廃墟のようになった町を見て言葉もなく、特に釜石の防災センターで、2階の天井の上から15センチほどのところまで津波が押し寄せ、避難してきてきた方々が100人近くもなくなっていたその場所に立ち尽くしてしまいました。また、今でも津波が襲った時を刻み、止まったままの時計がかけてある大槌町役場をみて呆然としていました。今回は、現地支援委員長の鈴木牧人牧師もお手伝いに来てくださり、やはり現地の様子に驚きを隠せないようでした。第4仮設のお茶っこに出かけ、仮設の方が用意してくださったお昼ご飯をいただき、今回は、仮設の皆さんと折り紙でクリスマスツリーを作りました。

2. 地震と津波警報
12月7日午後17時18分マグニチュード7.3震源地三陸沖で地震発生。津波警報、注意報が出されました。この日は、北海道連合と若手、青森チームの皆さんは野田村仮設支援にてかけ、帰路の途中の方もおられました。揺れが一分程続き、昨年の3.11を思い出させるような地震で、緊張が走ったひと時でしたが、東北の諸教会が支援している地域、仮設の方々、諸教会、伝道所に被害はありませんでした。一週間程、震度4程度の余震の心配があるとのこと。せ



小銃第7仮設談話室（新築）にて
はじめてのお茶っこ会

前日、夜遅くまで、手もみの練習をしたり、折り紙の下準備をして出かけて行ったのですが、言葉がかけるタイミングを失ったり、緊張したりで、夜の報告会は、寄り添えきれないもどかしさと、あまりにもひどい惨状を受け止めきれずに涙、涙の報告会でした。翌日は、11月17日に、談話室の開所式を行った大槌町小銃第7仮設団地で、初めてのお茶っこ会を開催いたしました。学生たちは、昨日よりも気合が入っており、談話室を覗き、入るのを戸惑っておられる方に声をかけながら、交わりの輪を広げていきました。だんだん笑い声が大きくなる中、今回も「ここにいたべから」とハグする方の姿も見られました。震災から1年8ヶ月。やっとの再会です。談話室の必要性を改めて感じさせられたひと時でした。翌日の風下がり、談話室を覗くと、自主的にお茶っこが開催されており、笑い声が外まで響いておりました。全国の皆さまのお祈りと捧げ物から生み出された笑顔と笑い声。感謝で胸が一杯になり思わず涙がこぼれました。

東日本大震災被災地支援委員会原発課題班コラム 原子力発電所と放射能について知っておきたいこと① 『核武装』

最近、石原慎太郎前都知事から驚きの発言が飛び出しました。「核武装という選択肢を手放さないために、原子力発電を止めるべきではない」という趣旨の言葉です。この言葉は石破茂自由民主党幹事長の次のような趣旨の言葉と呼応しています。「原発の技術と、ロケットの技術を合わせれば核ミサイルはいつでも作りうる。日本はこのような潜在的な核抑止力を保持すべきだ。」ここに、戦後原子力行政を思いのままに推進してきた人々の本音、今までのようには推進することが難しくなってきた人々の本音があります。

このように、かつて核武装は誰も公言できない原発推進の影の目的でしたが、今や「核兵器保持のために原発が必要だ」という言い方が堂々となされるようになったのです。実際、3.11以後に改訂された原子力基本法には、「安全保障」という発電とは何もない四文字が原子力政策推進の目的として書き加えられました。この著しい現象の理由は、9条の改憲潮流に乗ろうとする思いと（集团的自衛権行使、国防軍へ改組、核武装）、大飯原発再稼働反対に示された脱原発という民意に対する焦りでしょう。

衆議院総選挙を間近に控えてわたしたちは原発推進の目的が軍需産業を含む企業の利益追求と軍事化にあるという事実を見極め投票行動で意思を明らかにしたいものです。それが「フクシマ後」を生きるわたしたちの責任だと思います。

原発課題班（濱野道雄）



3. 募金のお願い
復興した町、被災地の方々の方が立ち上がる姿を見るには、もう少し時間がかかりそうです。家を建て仮設を出る人と残る人と状況が変化し、作り上げてきた人間関係も再び分断されてしまつことが予測されます。東北連合の各チームがもうしばらく支援活動を展開していくために、ぜひ、募金とお祈りのお支えをよろしくお願ひいたします。〈現地支援担当 金子千嘉世〉

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください すべての支援活動は、募金によって支えられています。

◇2012年度目標額	2000万円	◇4～11月支援募金額	11,104,760円
		(内訳)国内分	8,434,614円
		(内訳)国外分	2,670,146円

上記の他に指定(主に海外から)募金12,764,626円があり、指定された用途に用いられます。

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先:郵便振替00140-9-180881宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。